

平成26年度決算に係る
定期監査調書

平成27年6月

倉吉家畜保健衛生所

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	収入証紙取扱額調べ	4頁
8	収入事務処理状況調べ	4頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6頁
11	不納欠損額調べ	6頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9頁
14	財産に関する調べ	9頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	12頁
19	寄附物件の受納状況調べ	12頁
20	備品の処分状況調べ	13頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	14頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	事業別予算執行状況	15頁
23	家畜保健衛生事業	15頁
24	家畜病性鑑定事業	18頁
25	意見、要望等	19頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
	衛生指導担当	家畜保健衛生指導に関すること 獣医事に関すること 動物薬事に関すること 畜産振興に関すること
	防疫担当	家畜伝染病の防疫に関すること
	病性鑑定室	家畜の病性鑑定の特殊検査に関すること 牛海綿状脳症（BSE）に関すること

4 職員の定員、現員調べ

（平成27年6月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	当 該 年 度	26.4.1 現 在	
定 員	0	0	15	15	0	0	15	15	
現 員	(0) 0	(0) 0	(2) 15	(1) 15	(0) 0	(0) 0	(2) 15	(1) 15	育児休業：1名 産前休暇：1名
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	2	2	3	3	6	6	事 務：1名 現業技術員：1名 ----- (死亡牛一時保管施設) 獣 医 師： 2名 畜産技術員：2名

5 役付職員の調べ

（平成27年6月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	山里比呂志	4年 2月	継続勤務期間 5年2月
病性鑑定室長	山崎 浩一	1年 2月	
次 長	野田 一臣	2年 2月	出納員
課 長 補 佐	森 利之	1年 2月	
課 長 補 佐	青菘 芳幸	年 2月	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																											
<p>家畜伝染病予防事業</p> <p>決算額 7,605千円 (財源内訳) 国庫支出金 4,303千円 一般財源 12千円 その他 3,290千円</p> <p>○将来ビジョン I ひらく (4)素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 3 「食のみやこ鳥取県」の確立</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査とまん延防止措置を行う。 ・牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、県内における24カ月齢以上の死亡牛に対するBSE検査を行う。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○家畜伝染病の摘発 家畜伝染病(家畜伝染病予防法第2条): 2件 届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条、同施行規則第2条): 27件</p> <p>○家畜伝染病予防法第5条に基づく告示検査</p> <table border="0"> <tr> <td>〈牛〉</td> <td>・ブルセラ病</td> <td>: 577頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・結核病</td> <td>: 1,894頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ヨ―ネ病</td> <td>: 2,893頭</td> </tr> <tr> <td>〈馬〉</td> <td>・伝染性貧血</td> <td>: 0頭</td> </tr> <tr> <td>〈鶏〉</td> <td>・ニューカッスル病</td> <td>: 4,890羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ひな白痢</td> <td>: 4,890羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マイコプラズマ病</td> <td>: 4,890羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高病原性鳥インフルエンザ</td> <td>: 450羽</td> </tr> <tr> <td>〈蜜蜂〉</td> <td>・ふそ病</td> <td>: 39群</td> </tr> </table> <p>○死亡牛BSE検査 ・検査頭数: 416頭</p> <p>○家畜伝染病の侵入防止対策 ・高病原性鳥インフルエンザ: 防疫演習 1回</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内に於ける高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、昼夜を問わない防疫作業を想定し、夜間農場防疫作業体験演習を実施した。 ・当該演習を検証することにより、関係各所(県、市町、団体等)間の連携強化、情報共有体制の構築を図った。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検査を実施し、家畜伝染病2件(牛ヨ―ネ病)、届出伝染病27件(牛白血病18件、牛ウイルス性下痢症2件、牛伝染性鼻気管炎1件、牛サルモネラ症1件、豚丹毒1件、豚サルモネラ症3件、豚流行性下痢症1件)を摘発するとともに、発生農場に畜舎消毒、薬剤投与等を指示することでまん延を防止した。 ・死亡牛のBSE検査を実施し全ての陰性を確認することで、安全で安心できる畜産物生産体制構築の一助とした。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病2件、届出伝染病27件の摘発があり、各種検査による監視、伝染病の早期摘発、まん延防止の徹底を継続して対応する必要がある。 ・口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生時に関係各所が防疫マニュアルに基づく的確な対応ができるよう防疫演習等による十分な準備が必要である。 ・畜産農家が飼育する家畜以外で、口蹄疫では羊や山羊、高病原性鳥インフルエンザでは愛玩鶏やアヒルなどが防疫措置の対象となるため、市町と連携して情報収集に努め、飼育者に対する指導を徹底する必要がある。 	〈牛〉	・ブルセラ病	: 577頭		・結核病	: 1,894頭		・ヨ―ネ病	: 2,893頭	〈馬〉	・伝染性貧血	: 0頭	〈鶏〉	・ニューカッスル病	: 4,890羽		・ひな白痢	: 4,890羽		・マイコプラズマ病	: 4,890羽		・高病原性鳥インフルエンザ	: 450羽	〈蜜蜂〉	・ふそ病	: 39群	
〈牛〉	・ブルセラ病	: 577頭																											
	・結核病	: 1,894頭																											
	・ヨ―ネ病	: 2,893頭																											
〈馬〉	・伝染性貧血	: 0頭																											
〈鶏〉	・ニューカッスル病	: 4,890羽																											
	・ひな白痢	: 4,890羽																											
	・マイコプラズマ病	: 4,890羽																											
	・高病原性鳥インフルエンザ	: 450羽																											
〈蜜蜂〉	・ふそ病	: 39群																											

事業名	概	要
<p>家畜衛生対策事業</p> <p>決算額 21,099千円 (財源内訳) 国庫支出金 10,316千円 一般財源 10,772千円 その他 11千円</p> <p>○将来ビジョン I ひらく (4)素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 3 「食のみやこ鳥取県」の確立</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜衛生関連情報の収集と提供により、家畜衛生水準を維持、充実させるとともに、家畜の生産性を阻害する慢性疾病を排除し、生産性の改善と経営の安定を図る。また、動物用医薬品の使用、管理、流通の適正化を推進し、安全で安心できる畜産物の生産を指導する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○畜産物の安全確保対策 飼料安全法に基づき、飼料中に肉骨粉が含まれないことの確認検査を実施した。</p> <p>1) 牛飼養農家巡回指導 管内牛飼養農家10戸を対象に巡回指導</p> <p>2) 肉骨粉検査 地域流通飼料製造業者1業社1品目を対象に収去検査を実施</p> <p>○診断予防技術向上対策 全国規模で新しい診断技術を実証するための検査を実施 牛4戸(404頭 牛ウイルス性下痢粘膜病)</p> <p>○動物用医薬品危機管理 動物用医薬品の適正管理、流通及び使用について指導を行うとともに、動物用医薬品の品質検査を行い監視した。</p> <p>1) 動物用医薬品使用実態調査・指導 管内酪農農家69戸(全戸)を対象に調査指導を実施</p> <p>2) 生産農家での薬剤耐性菌検査 牛2戸(4検体)、豚2戸(4検体)、鶏2戸(4検体)</p> <p>3) 動物用医薬品販売業者への立入検査 19店舗(管内全店舗)への立入検査を実施</p> <p>○地域衛生管理対策 地域内の慢性疾病等の検査・指導を行うとともに、飼養管理状況の確認を行い、発生予防及びまん延防止に役立つ仕組みづくりを検討した。</p> <p>1) 牛ウイルス性下痢粘膜病対策 公共牧場を中心に県内利用農家の清浄化及び県外からの侵入まん延防止対策 牛48戸、574頭を対象に検査 2頭の持続感染牛を摘発</p> <p>2) 乳房炎・幼畜疾病対策 畜産経営に影響の大きい乳房炎、下痢症及び肺炎の監視検査を実施。 乳牛138検体、牛5戸、豚5戸 検討会各1回開催</p> <p>3) 牛白血病清浄化対策 モデル農場調査分析・指導 和牛繁殖一貫経営農場1戸 検討会1回開催</p> <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農場並びに診療獣医師へ牛ウイルス性下痢粘膜病へ対する理解・啓蒙を図り、早期発見・連絡が行われる体制づくりを構築した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜衛生対策事業として病気の早期発見と迅速な対応、予防対策の徹底などに取り組む、慢性疾病を排除することで、農家には経済効果が得られたものとする。とりわけ牛ウイルス性下痢粘膜病では2頭の持続感染牛を早期に摘発し、管内の清浄化へ寄与することができた。 ・動物用医薬品の適正管理、使用の指導は、安全で安心できる畜産物の生産体制構築の一助となっている。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診断予防技術向上対策では、早期診断技術確立のために、引き続き、全国規模でのデータを蓄積し、検査精度の検証を行うことが必要である。 ・動物用医薬品危機管理対策、流通飼料対策では、畜産物の安全性を確保するため、今後とも監視体制を維持、充実させることが必要である。 ・地域衛生管理体制整備では、関係者が一体となって、経済的損失につながる病気の効果的な対処方法を広く普及、検証していく必要がある。 	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成27年5月31日現在)

収入科目			件数	単価(円)	証紙はり付額(円)	備考
目	節	細節				
農林水産業 手数料	畜産業手数料	動物用医薬品販売 業許可等手数料	1	11,000円	11,000	鳥取県手数料徴収条例第2条(53) 薬事法第24条第2項許可更新
		計(節)	1		11,000	
	目計	1		11,000		
合計			1		11,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成27年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使 用料	行政財産使用料		20	139,160	139,160				
		計(節)	20	139,160	139,160				
目計			20	139,160	139,160				
合計			20	139,160	139,160				

(3) 手数料

(平成27年5月31日現在)

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考	
目	節	細節								
農林水産業 手数料	畜産業手数料	家畜防疫手数料	68件	2,908,750	2,908,750	0	0	鳥取県手数料 徴収条例		
		〈内訳〉								
		ヨーネ病(ELISA)	(2,803頭)	1,906,040					@680	
		ヨーネ病(PCR)	(1頭)	2,390					@2,390	
		結核病	(1,829頭)	438,960					@240	
		ブルセラ病	(577頭)	138,480					@240	
		家禽サルモネラ感染症	(4,890羽)	210,270					@43	
		マイコプラズマ病	(4,890羽)	210,270					@43	
		ふそ病	(39群)	2,340					@60	
		家畜保健衛生所手数料	12件	190,550	190,550	0	0		鳥取県家畜保 健衛生所の名 称、位置及び 管轄区域等を 定める条例	
		〈内訳〉								
		ヨーネ病(ELISA)	(13頭)	31,460						@2,420
		ヨーネ病(PCR)	(1頭)	2,420						@2,420
		結核病	(17頭)	10,880						@640
		ブルセラ病	(14頭)	13,300						@950
カンピロバクター病	(1頭)	2,520				@2,520				
トリコモナス病	(1頭)	1,090				@1,090				
サルモネラ症	(1頭)	2,520				@2,520				
牛ウイルス性下痢症	(50頭)	121,000				@2,420				
牛白血病	(1頭)	2,420				@2,420				
検査証明書	(7件)	2,940				@420				
	計(節)	80件	3,099,300	3,099,300	0	0				
	目計	80件	3,099,300	3,099,300	0	0				
	合計	80件	3,099,300	3,099,300	0	0				

(4) 財産収入

該当なし

(5) 諸収入

(平成27年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	冷蔵庫電気使用料	1件	20,907	20,907	0	0		(公社) 鳥取県畜産推進機構
		非常勤雇用保険料 本人負担分	56件	42,742	42,742	0	0		
	計(節)		57件	63,649	63,649	0	0		
目計			57件	63,649	63,649	0	0		
合計			57件	63,649	63,649	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成27年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
畜産業手数料	489,120	家畜防疫手数料(50件)
	33,180	家畜保健衛生所手数料(4件)
合計	522,300 (54件)	

イ つり銭の状況

該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料移出状況調べ

(1) 負担金

(平成27年5月31日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
家畜保健衛生費								
新規以外のもの						10,000		倉吉地区安全運転運行管理者協議会
目計						10,000		
合計						10,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成27年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			契約形態					
					(契約年月日) 契約額	契約 期間						
家畜保健衛生費	国補	産業廃棄物(汚泥)の収集運搬及び処理業務委託	三光(株)	50	(26.5.14)	26.5.14	26.5.13	26.7.8	精算	26.8.1 外	1,979,640	特別管理産業廃棄物(感染性汚泥)の収集運搬、処分が可能な業者
				60,000 (単価契約)	50 60,000 (単価契約)	27.3.31	(免除)	外				
家畜保健衛生費	単県	ヒートポンプエアコン保守点検業務委託	(株)ヤマト 米子支店	369,878	(26.6.6)	26.6.6	26.6.4	26.6.20	精算	26.7.18	356,400	特殊構造のため特約店に限定される。県内特約店は1社のみであるため
					356,400	26.7.31	(免除)	26.7.7				
家畜保健衛生費	単県	マルチビーズシヨッカー保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	210,600	(26.9.22)	26.9.22	26.8.27	26.10.27	精算	26.11.7	210,600	
					210,600	26.10.31	(免除)	26.10.29				
家畜保健衛生費	単県	リアルタイムPCR保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	367,200	(26.9.25)	25.9.25	26.9.5	26.10.21	精算	26.11.7	367,200	
					367,200	27.1.31	(免除)	26.10.27				

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日	完 了 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			(契約保証金 納付等年月日)	履 行 検 査 年月日				
				(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間							
予定価格が20万 円未満のもの											1,085,042	
目 計											3,998,882	
合 計											3,998,882	

1 3 工事請負費調べ 該当なし

1 4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成27年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所 在 地	前 年 度 末		本 年 度 異 動 状 況						本 年 度 末		備 考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目131	146.00	6,935,000	増加	H				H	146.00	6,935,000	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	991.24	12,924,275	増加	H				H	991.24	12,924,275	
					減少	H				H			
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目133	563.91	34,556,771	増加	H				H	563.91	34,556,771	
		減少			H				H				
計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	
合 計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	

イ 建物

(平成27年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	1,176.89	451,155,600	増加	H				H	1,176.89	451,155,600	
		二丁目132			減少	H			H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	78.00		増加	H				H	78.00		
		二丁目132			減少	H			H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	58.00		増加	H				H	58.00		
		二丁目132			減少	H			H				
計			1,312.89	451,155,600						1,312.89	451,155,600		
合 計			1,312.89	451,155,600						1,312.89	451,155,600		

- ウ 山林 該当なし
- エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種 別	前年度末	本年度中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	36,710 ^円	67,734 ^円	82,615 ^円	21,829 ^円	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	36,710	67,734	82,615	21,829	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

1 5 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成27年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付 (使用許可)目的	所在地	数量 又は面積	貸付 (使用許可)年月日	当初貸付 (使用許可)年月日	貸付 (使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価 丹繰・年額	本年度の 貸付(使用)料		
行政財産	薬品冷蔵庫 設置場所	倉吉市清谷町 二丁目132	1.0㎡	H26.3.25	H22.1.18	H26.4.1 ～ H27.3.31		8,160	鳥取市末広温泉町723 (公社)鳥取県畜産推進機構 会長 高見俊雄	
計								8,160		
合計								8,160		

(2) 物品 該当なし

1 6 借受不動産明細調べ 該当なし

1 7 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積(㎡)	貸付(使用)料(月額)(円)
行政財産	倉吉市清谷町二丁目132	10.81	1,000

イ 異動状況
(行政財産)

(平成27年3月31日現在)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免		うち減免		うち減免				
4月	17人	1人	0人	人	人	16人	5人	11,000円	/	/
5月	16					16	5	11,000		
6月	16	1	0	1	0	16	5	11,000		
7月	16					16	5	11,000		
8月	16					16	5	11,000		
9月	16					16	5	11,000		
10月	16					16	5	11,000		
11月	16					16	5	11,000		
12月	16	1	0	1	0	16	5	11,000		
1月	16					16	5	11,000		
2月	16					16	5	11,000		
3月	16	1	0			15	5	10,000		
合計								131,000円		

- 18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 19 寄付物件の受納状況調べ 該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成27年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不 用 決 定 年月日	不 用 と する 理 由	処 分				備 考
							売払 棄却 の別	売払方法・棄却 理由	処 分 年月日	売払額・ 処分費用	
クリオスタット 英国フライト社製	1 台	H3.3.29	5 年	2,600,000 円	H26.3.27	老朽化及び 修理不能	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H27.3.5	△5,400円	
超高速遠心機 日立CP56G	1 台	H4.3.23	15 年	7,173,332 円	H26.3.27	老朽化及び 修理不能	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H27.3.5	△5,400円	
高圧滅菌器 MLS-3780F	1 台	H14.3.27	10 年	630,000 円	H27.1.27	老朽化及び 修理不能	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H27.3.5	△5,400円	
カメラ キャノンEOS750	1 台	H1.3.24	5 年	78,000 円	H27.2.9	老朽化	棄却	使用実績なく 資産価値なし	H27.3.9	その他の 不燃廃棄 物と一括 処分 △30,240円	
データ処理装置 日立D-2500形	1 台	H6.3.25	5 年	258,400 円	H27.3.9	老朽化及び 修理不能	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H27.3.9		
純水製造器 ミリホ°アミリQラホ°	1 台	H6.3.25	8 年	1,153,600 円	H27.3.9	老朽化によ る機器更新	棄却	再利用不適・ 資産価値なし	H27.3.9		
システム顕微鏡 オリンパスBHS123	1 台	S62.8.7	5 年	590,000 円	H26.9.30	老朽化によ る機器更新	棄却	資産価値なし 代替機器購入	H26.9.30	0円	
解剖台 富士平FF20	1 台	H9.3.28	15 年	515,000 円	H26.10.1 5	老朽化及び 使用困難	売払	インターネット公有 財産売却	H26.12.10	22,222円	
合 計										△24,218円	

2 1 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成27年 1月 5日	・有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
～			
平成27年 2月26日			

2.2 事業別予算執行状況調べ

目 名		家畜保健衛生費		(平成27年3月31日現在)	
事業名		事業の概要(目的、実績等)			
家畜伝染病予防事業		「6 主な事業に関する調べに記載」			
家畜衛生対策事業		「6 主な事業に関する調べに記載」			
家畜保健衛生所管理運営事業		家畜保健衛生所の円滑な運営に要する経費 ・人件費 非常勤職員報酬、共済費 ・備品購入費 必要な検査機器、図書の購入 ・委託料 設備保守点検等委託経費 ・標準事務費 旅費、光熱水費、燃料費、役務費、消耗品費等 ・その他			

2.3 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成26年2月1日		前年同期		備 考	
乳用牛	67戸	4,885頭	75戸	5,076頭	△ 8戸	△ 191頭
肉用牛	124戸	10,620頭	133戸	11,467頭	△ 9戸	△ 847頭
豚	21戸	17,348頭	22戸	19,509頭	△ 1戸	△ 2,161頭
採卵鶏	12戸	109,465羽	12戸	109,935羽	戸	△ 470羽
ブロイラー	23戸	1,570,013羽	22戸	1,865,033羽	1戸	△ 295,020羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成27年3月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備 考
家畜伝染病予防事業	ブルセラ病	検査	4月～3月	管内一円	600頭	577頭	
	結核病	〃	〃	〃	2,400頭	1,894頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除65頭を含む
	ヨネ病(ELISA)	〃	〃	〃	3,480頭	3,280頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除89頭 家畜伝染病予防法第51条による検査388頭を含む
	牛伝染性疾病	〃	〃	〃	17,000頭	12,994頭	
	豚伝染性疾病	〃	〃	〃	19,500頭	9,656頭	
	鶏伝染性疾病	〃	〃	〃	150,000羽	235,750羽	
	馬伝染性疾病	〃	〃	〃	13頭	8頭	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病予防事業	めん山羊伝染性疾病	検査	4月～12月	管内一円	40頭	4頭	
	ひな白痢	〃	〃	〃	3,500羽	4,890羽	
	マイコプラズマ病	〃	〃	〃	3,500羽	4,890羽	
	ニューカッスル病	〃	〃	〃	4,900羽	4,890羽	種鶏4,890羽
	ふそ病	〃	9月	〃	100群	39群	
	アカハネ病等	〃	6月～11月	〃	72頭	83頭	
	牛ウイルス性下痢・粘膜病	〃	4月～3月	〃	208頭	453頭	
	牛サルモネラ	〃	〃	〃	100頭	79頭	
	牛白血病	〃	〃	〃	1,350頭	1,428頭	
	馬伝染性貧血	〃	〃	〃	5頭	0頭	
	オースキ病	〃	〃	〃	550頭	443頭	
	豚コレラ抗体	〃	〃	〃	280頭	180頭	
	豚コレラ症	〃	〃	〃	100頭	482頭	
	PRRS抗体	〃	〃	〃	280頭	180頭	
	豚流行性下痢	〃	〃	〃	280頭	1,304頭	
	鳥インフルエンザ	〃	〃	〃	360羽	450羽	
	鶏コレラ症	〃	〃	〃	35戸	35戸	
	ブルセラ病	証明	〃	〃	—	2件・25頭	
	結核病	〃	〃	〃	—	2件・25頭	
	ヨネ病	〃	〃	〃	—	2件・25頭	
死亡牛BSE検査	検査	〃	県内	440頭	416頭		
種畜検査(牛)	〃	〃	管内一円	—	43頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除18頭を含む	
病性鑑定	〃	〃	〃	—	783件		

事業別	業務内容		実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜衛生対策事業	畜産物の安全性の確保対策		巡回指導	4月～3月	管内一円	10戸	10戸	牛飼養農家
			肉骨粉検査	〃	〃	1業者・1品目	1業者 1品目	地域流通飼料製造業者から収去
	診断予防技術向上対策		検査指導	4月～3月	管内一円	1戸・20頭程度	4戸・404頭	牛ウイルス性下痢症
	動物用医薬品危機管理	動物用医薬品使用実態調査	調査指導	4月～3月	管内一円	酪農:79戸	酪農 69戸	立入検査
		薬剤耐性菌の発現状況検査	検査	〃	〃	7戸 (県内全体で12戸)	6戸	対象菌種:カンピロバクター
		医薬品販売業社等への検査	立入検査	〃	〃	19店舗	19店舗	立入検査調書を作成
			許可更新等	〃	〃	—	許可更新 1件 新規申請 3件	
	地域衛生管理対策	牛ウイルス性下痢粘膜病対策	確認指導	4月～3月	管内一円	牛:210戸	牛:48戸 574頭を対象に検査 2頭のPI牛を摘発	PI牛:持続感染牛
		乳房炎	検査指導	4月～3月	管内一円	158検体	138検体	バルク乳検査
			会議等	〃	〃	検討会議 1回以上	検討会議 1回	
		幼獣疾病対策	調査指導	4月～3月	管内一円	牛 5戸:豚 5戸 ×4回	牛 5戸:豚 5戸 ×4回	
			会議等	〃	〃	検討会議1回以上	検討会議 1回	
		牛白血病清浄化対策	調査指導	4月～3月	管内一円	1戸	1戸 発生農場を対象	
			会議等	〃	〃	検討会1回以上	検討会 1回	

2.4 家畜病性鑑定事業

(1) 家畜病性鑑定の状況調べ

(平成27年3月31日現在)

家畜別	病性別	受付件数	鑑定済件数	鑑定未済件数
乳用牛	異常産	4	4	
	ウイルス検査	26	26	
	ウイルス遺伝子検査	47	47	
	飼料検査	4	4	
	病理検査	9	7	2
	血液プロファイル	6	6	
	サーベイランス事業	12	12	
	細菌検査	3	3	
	細菌遺伝子検査	3	3	
	小計	114	112	2
肉用牛	異常産	3	3	
	ウイルス検査	24	24	
	ウイルス遺伝子検査	35	35	
	病理検査	11	9	2
	血液プロファイル	23	23	
	サーベイランス事業	8	8	
	細菌検査	7	7	
	小計	111	109	2
豚	ウイルス検査	5	5	
	ウイルス遺伝子検査	8	8	
	ウイルス抗体検査	16	16	
	病理検査	10	9	1
	細菌検査	12	12	
	細菌遺伝子検査	2	2	
	小計	53	52	1
馬	ウイルス抗体検査	1	1	
	小計	1	1	
鶏	ウイルス遺伝子検査	1	1	
	ウイルス抗体検査	2	2	
	サーベイランス事業	36	36	
	病理検査	12	12	
	細菌検査	5	5	
	小計	56	56	
その他	原虫検査	1	1	
	小計	1	1	
合計		336	331	5

(2) 項目別病性鑑定実施状況調べ

(平成27年3月31日現在)

区 分		細菌	ウイルス	寄生虫	生化学	病理	環境保全	その他	計
乳用牛	件数	11	90		13	12			126
	検体数	55	1573		74	15			1717
肉用牛	件数	8	69		25	12			114
	検体数	44	533		220	17			814
豚	件数	18	40			12			70
	検体数	54	1657			46			1757
馬	件数		1						1
	検体数		1						1
羊・山羊	件数								
	検体数								
鶏	件数	7	48			12			67
	検体数	23	1485			62			1570
その他	件数			1					1
	検体数			3					3
計	件数	44	248	1	38	48			379
	検体数	176	5249	3	294	140			5862

(3) BSE検査実績

死亡牛検査 416頭 (平成27年3月31日現在)

2.5 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし